

**令和3年度愛媛県高等学校ボクシング新人大会要項
(兼、第33回全国高等学校ボクシング選抜大会愛媛県予選)**

- 1 主 催 愛媛県高等学校体育連盟
- 2 期 日 令和3年11月20日（土）、21日（日）、23日（火）※予備日
- 3 会 場 松山工業高等学校 第2体育館
- 4 日 程 11月20日（土）
- スポーツエントリーズチェック
7:20 点 呼（1回戦出場階級の選手）
7:30 健診・計量 かどた脳神経外科
監督会議・組合せ抽選会
14:00 開会式
14:15 競技開始（各階級1回戦）
- 11月21日（日）
- 7:50 点 呼
8:00 健診・計量 松山工業高校
10:00 競技開始（各階級決勝）
競技終了後 閉会式
- 11月23日（火）
- ※予備日（階級に5名以上の出場者がいた場合）
7:50 点 呼
8:00 健診・計量 松山工業高校
10:00 競技開始（各階級決勝）
- 5 監督会議及び組合せ抽選 11月20日（土） 健診・計量終了後 松山工業高校
- 6 階 級 男子 ピン級からミドル級までの8階級
女子 ピン級 ライトフライ級 フライ級 バンタム級 ライト級の5階級
但し、全国高等学校ボクシング選抜大会愛媛県予選選考を希望しない選手に限り、Bパートでのエントリーを認める。
- 7 競技規定 (一社)日本ボクシング連盟競技規則を適用する。
- 8 競技方法 (1) 個人戦のみとする。
(2) 1ラウンド2分とし、3ラウンドで行う。
(3) トーナメント方式で行い、優勝、準優勝を決定する。
ただし、3位決定戦は行わない。
- 9 参加資格 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。
(2) 選手は、県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、大会参加の資格を得た者に限る。
(3) 年齢は平成16年4月2日以降に生まれた者、但し、同一学年での出場は1回限りとする。
(4) 転校後6ヶ月未満の者の参加は認めない。

- (5) 参加申し込み締切日までに（一社）日本ボクシング連盟へ令和3年度の登録済み生徒であること。（未登録者は申込を受け付けない。）
- (6) 選手は、選手手帳の携行を必要とする。不携行の場合は出場させない
 - ア 今大会期間中の日数分の余白があるので、写真が貼られているものであること。また余白のない場合は、前選手手帳と新しい選手手帳を両方持参すること。
 - イ 令和3年度の健康診断記録に必要事項が記載され、医師の署名捺印がされていること。
 - ウ 頭部単純CT検査の結果を診断書として、愛媛県ボクシング連盟医事委員会に必ず提出すること。診断書は、くも膜のう胞の有無が明記されたものでなければならない。
- (7) 競技参加資格は実練習期間6ヶ月を超えている者に限る。
- (8) 選手は、スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」若しくはこれと同等以上の保証額のある傷害保険に必ず加入していること。（加入証明のコピーを提出のこと。）

10 引率・監督

- (1) 引率責任者は、校長の認める学校の職員とする。
- (2) チーフセコンド・サブセコンドは令和3年度（一社）日本ボクシング連盟に登録済みの者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入すること。
- (3) 未登録引率者のみの参加の場合、競技中のチーフセコンド・サブセコンド業務を他の登録者に依頼してもよい。
- (4) チーフセカンド、サブセカンドは日本ボクシング連盟が認定するセカンド資格を取得していなければならない。（また、セカンドを行う者（指導者）は、インテグリティ研修に必ず参加しなければならない。セカンド手帳を提出し、実績の証明を受け参加したものに限りその大会のチーフセカンドを務めることができる。）試合時には必ずセカンドワッペンを着用すること。 ※参加申込書に記入し提出すること。

11 参加申込

(1) 申込方法

参加校は、所定の申込書（参加申込書兼セカンド登録申込書・女子申告書）に必要事項を記入し、下記まで確実な方法で送付すること。

(2) 申込先

〒791-8604 愛媛県松山市山西町 663

新田高等学校 菊地孝啓 宛

TEL : (089)951-0188 FAX : (089)951-0190

*緊急の場合はFAXでも仮の申し込みを受け付けるが、後日正式な参加申込書を送付のこと。またFAXで申し込んだ場合は、必ず申込先に電話で確認すること。

(3) 申込期日

令和3年11月5日（金）必着

参加申込書兼セカンド登録申込書 女子申告書	締切日までに申込先まで郵送
健康申告書	スポーツエントリーズチェック時提出
健康チェックシート①	スポーツエントリーズチェック時確認 要望があった場合提出できるように持参
参加同意書チェックシート②	毎日健診時に提出 健診のない者は受付で提出

- 12 連絡事項
- (1) ヘッドガードは、AIBA 及び日連の検定品で競技者所有のヘッドガードの使用を認める。なお、競技者はコーナーカラー（赤色および青色）のヘッドガードを着用しなければならない。
 - (2) カッププロテクター、バンテージ、マウスピースは、各自持参すること。（ただしガムシールドは赤色またはそれに類する色の使用を禁止する。）
 - (3) ユニフォームはコーナーカラーの（赤色および青色）のものを着用する。ベルトライインは6 cmから10 cm幅の赤・青以外の色で、明白に識別されていること。県名のないものは、ゼッケンをつけること。（ただしハガキ2枚大とする）
 - (4) 競技中の疾病・傷害等の応急措置は主催者で行うが、その後の責任は負わない。参加選手は健康保険証を持参すること。
 - (5) 大会に参加する選手は必ず引率責任者によって引率されるものとし、その引率責任者は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。
 - (6) セコンドは、トレーニングウェア（ズボンは必ず長ズボン）を着用すること。ジーンズその他の服装にてセコンドを行うことは認めない。
 - (7) 刺青に関してはその大小、場所を問わず、またシールによるものであっても出場における資格を失う。
 - (8) 日本連盟指導事項（あごひげ、頭髪、染色等）について事前に指導して大会に臨むこと。違反者は失格とする。
根拠として、一般社団法人日本ボクシング連盟医事ハンドブック 第10章を参照すること。

10-2 毛髪

前額部を覆う長髪は視野を制限し、眼球傷害を引き起こしてしまう。髪の長さは眉・耳たぶ・頸の境界を越えてはならない。長髪の女性は髪をゴムでまとめ、ヘアネットかスイミングキャップをかぶってまとめた後にヘッドギアを装着しなければならない。ヘアピンなどのアクセサリーは使用してはならない。

10-3 ひげ・つけまつげ

クリンチの際、ひげやつけまつげは対戦相手の眼に入り角膜擦過傷を引き起こす可能性があるため危険性があるため禁止である。口髭・あご髭はきれいに剃らなければならない。

10-4 身体装飾品・器械、入れ墨・タトゥー

ボクシング競技では、ピアスなどの身体装飾品の装着は認められない。また、身体のどの部位についても、サイズの大小にかかわらず、入れ墨・タトゥーは認められない。シールも同様である。なお、植え込み

- 器械（電子機器を含む）または身体機能を変える可能性のある器械の装着については、循環器専門医の許可（診断書）があれば、要注意下に競技可能である。
- (9) プロ主催の競技会に参加し、金品を受け取る等、アマチュア資格に反している者は参加を認めない。
- (10) 上記以外の競技規則については、（一社）日本ボクシング連盟の規則と同様とする。また、上記事項に抵触した場合、出場を認めないことがある。その判断は、当大会の主催者である愛媛県高等学校体育連盟が行う。
- (11) 今大会において各階級の優勝者は、12月に愛媛県で行われる第14回四国高等学校ボクシング新人大会Aパートへの出場権を得る。各階級優勝者以外の四国新人大会への出場するにふさわしい選手はBパートへの出場権を得る。但し各階級1名とする。
- (12) 今大会は第33回全国高等学校ボクシング選抜大会愛媛県予選を兼ねるが、選抜大会開催可否に基づき、大会運営を行うものとする。選抜大会中止の際は、令和3年度愛媛県高等学校ボクシング新人大会として大会を開催する。